

令和6年2月9日

報道各位

新潟市歴史博物館

みなとぴあ歴史発見プロジェクト企画展

歓喜・悲嘆・奮励の366日

1964

～ 2/17より開催 ～

日ごろ新潟市歴史博物館みなとぴあ企画事業の広報にご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当館では2/17(土)から企画展示室にて、みなとぴあ歴史発見プロジェクト企画展「1964」を開催します。

新幹線開通や東京オリンピック開催があった1964年、新潟では国体開催、大地震発生がありました。昭和史に残る出来事が続いた1964年を振り返ります。

詳しくは別紙の通りですので、周知等についてご協力下さいますようお願いいたします。

〈問合せ先〉

新潟市歴史博物館 みなとぴあ

担当：学芸課 藍野・田嶋

TEL 025-225-6111 FAX 025-225-6130





2023年度 みなとぴあ
歴史発見プロジェクト企画展

歓喜・悲嘆・
奮励の366日

1964



このたびの「令和6年能登半島地震」で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
本展は、展示方法に配慮しながら開催いたします。

2024年
2/17 土 >>> 3/24 日

会場

新潟市歴史博物館
本館1階 企画展示室

【開館時間】午前9時30分～午後5時（観覧券の販売は閉館30分前まで）

【観覧料】※本展は常設展観覧券でご覧いただけます
一般／300円、大学生・高校生／200円、
中学生・小学生／100円
[20名以上は団体料金で2割引、小中学生は土日祝日無料]

【休館日】毎週月曜日、2/27(火)、3/21(木)

主催：新潟市歴史博物館

協力：新潟県立生涯学習推進センター

後援：新潟日报社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、産経新聞新潟支局、
NHK新潟放送局、BSN新潟放送、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV(株)ニューメディア、FM新潟77.5、
FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ほかほかラジオ

みなとぴあHPは
こちらから



新潟市歴史博物館 みなとぴあ

〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10
TEL:025-225-6111 FAX:025-225-6130
E-Mail:museum@nchm.jp

みなとぴあ歴史発見プロジェクト

こどもから大人まで幅広くみなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の町をみんなでもりあげていこう！という事業です。

協賛



歓喜・悲嘆・奮励の366日

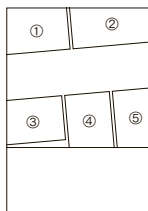
1964

2024年 2/17日(土) >>> 3/24日(日)

世界最速の新幹線が走りだし、アジア初のオリンピックが東京で開催された1964(昭和39)年、新潟では国民体育大会が開催され、大地震が発生しました。新潟にとっての転換点にもなった1964年の出来事と新潟の人々の様子を織り交ぜながら振り返り、その後の街づくりの進展について考えます。

【表掲載写真】

- ①新潟地震／西大畑の砂丘上に避難してきた人々……撮影：渡邊一男
- ②新潟国体／ロードレース競技
- ③国体開催を控えて装飾される古町通……撮影：桜井進一
- ④新潟地震／萬代橋を行き来する人々……撮影：渡邊一男
- ⑤東京オリンピック開催を紹介するショーウィンドー展示……撮影：桜井進一



新潟地震

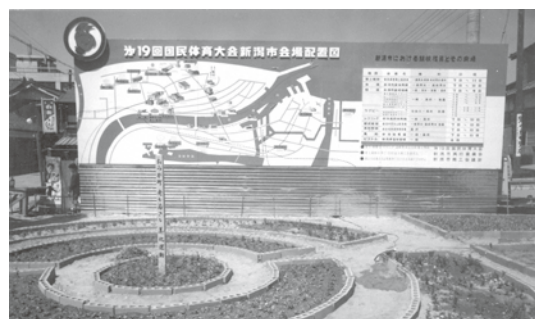


下町の浸水地区を舟で進む

新潟国体



国体旗が新潟市役所に到着する



鏡橋わきに設置された装飾看板と花いっぱい運動の花壇
撮影：桜井進一

関連イベント

展示解説会

申込不要

当館学芸員が展示解説します。参加には常設展観覧券が必要です。
日 時：毎週土曜日 午前11時から20分程度
会 場：本館1階 企画展示室
参加費：無料

防災ワークショップ「みんなで防災」

事前申込必要 定員20名

新潟地震の被害状況を振り返るとともに、起こりうる災害への準備や心構えを防災士とともに体験し学びます。イベントの詳細はみなとぴあHPをご覧ください。

日 時：3月3日(日) 午後2時～4時
会 場：本館1階 たいけんのひろば
対 象：どなたでもご参加いただけます。
※小学生以下のお子さんは、保護者同伴でご参加ください。
参加費：無料
申込〆切：2月24日(土)(応募多数の場合抽選)

上映会

1964年の新潟における2大ニュース、新潟国体と新潟地震の記録映像を上映します。(上映会場が異なりますのでご注意ください)

【1】『新潟国体』映像上映会 申込不要 定員186名(先着順)

「新潟国体をめざして」、「新潟国体」の2本を上映します。
日 時：3月14日(木) 午後1時30分～2時30分(開場 午後1時)
会 場：新潟県立生涯学習推進センター 1階ホール
(新潟市中央区女池南3丁目1-2 県立図書館複合施設)
会場問い合わせ先：025-284-6110

参加費：無料

【2】『新潟地震』映像上映会 申込不要 定員60名(先着順)

「新潟地震」、「新潟震災 復旧応援」の2本を上映します。
日 時：3月20日(水・祝) 午後1時30分～3時15分(開場 午後1時)
会 場：本館2階 セミナー室
参加費：無料

【イベント申込方法】

ホームページの申込フォームもしくはメール、往復はがきに以下の①～④を明記して博物館まで。

- ①防災イベント申込 ②氏名 ③住所 ④連絡先電話番号



申し込みフォームはこちら！



新潟市歴史博物館
〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10
TEL:025-225-6111 FAX:025-225-6130
E-Mail:museum@nchm.jp HP:https://www.nchm.jp/

交通案内

- 【バスで】新潟駅万代口バスターミナルより
 - 観光循環バス 乗車40分「歴史博物館前」下車
 - 路線バス
 - ① ≪萬代橋ラインー青山方面行≫乗車6分、「本町」下車、乗り換え徒歩5分
 - ≪東堀通線ー入船営業所行≫「東堀通七番町」から乗車8分、「歴史博物館前」下車
 - ② ≪柳都大橋線ー入船営業所行≫乗車12分、「湊町通二丁目」下車、徒歩8分
 - 【タクシーで】新潟駅より 約10分
 - 【お車で】新潟バイパス紫竹山ICより 約15分(駐車場73台)



【お知らせ】

2023年度 みなとぴあ歴史発見プロジェクト 企画展
「1964－歓喜・悲嘆・奮励の366日－」 開催します

新潟市歴史博物館では、2月17日（土）より、下記企画展を開催しますのでご案内いたします。

≪「1964－歓喜・悲嘆・奮励の366日－」展≫

世界最速の新幹線が走りだし、アジア初のオリンピックが東京で開催された1964（昭和39）年、新潟では国民体育大会が開催され、大地震が発生しました。新潟にとっての転換点にもなった1964年の出来事と新潟の人々の様子を織り交ぜながら振り返り、その後の街づくりの進展について考えます。

【見どころ】

本展では、国体の開催決定が大きなきっかけとなった堀の埋め立てや新潟の人々が一丸となって国体開催を後押しする様子を紹介します。

また新潟地震については、旧新潟市内各地での被害状況を写真と体験談から振り返るとともに、周囲の支援を受けながら復旧に邁進する町の様子を紹介します。

【「1964」展 関連イベント】

●展示解説会 会期中の毎週土曜日 午前11時から20分程度

●「新潟国体」映像上映会

日時：3月14日（木）午後1時30分～2時30分（開場：午後1時）
会場：新潟県立生涯学習推進センター 1階ホール（中央区女池南3）
協力：新潟県立生涯学習推進センター

●「新潟地震」映像上映会

日時：3月20日（祝）午後1時30分～3時15分（開場：午後1時）
会場：みなとぴあ本館2階セミナー室

●防災ワークショップ「みんなで防災！」

新潟地震の被害をふりかえり、パッキング体験、非常時におけるカバンの中身の検討や、マイ・タイムラインを作成し、避難行動について考えるなど、防災士とともに楽しみながら学びます。

日時：3月3日（日）午後2時～4時
会場：みなとぴあ本館1階たいけんのひろば
講師：平井孝志さん（防災士、新潟市防災士の会会長）

2023年度みなとぴあ歴史発見プロジェクト企画展

「1964－歓喜・悲嘆・奮励の366日－」

会期：2024年2月17日（土）～3月24日（日）

会場：新潟市歴史博物館 本館1階企画展示室

開館時間：午前9時30分～午後5時

休館日：毎週月曜日、2月27日（火）、3月21日（木）

展示資料点数：写真を含め、約200点（予定）

【展示写真ピックアップ】



新潟国体 陸上 ロードレース
3.5kmロードレース。ゴールの陸上競技場に戻ってきた選手を多くの観衆が迎える



地震直後 万代橋を行き交う人々
万代橋東詰の取付道路から駅方面を写す。大きく割れた道路を行き交う人々はズボンの裾をあげ、濡れた裸足で急ぐ。万代橋の東西のたもとは液状化で水があふれていた。



土のう作りを手伝う地域住民 北部グラウンドにて
地震により信濃川兩岸の護岸が破壊され、水が引かなくなっていたため、自衛隊による信濃川の締切作戦が行われた。作戦のための土のうづくりには浸水地域の住民たちも協力した。

【お問い合わせ】

新潟市歴史博物館（担当：藍野、田嶋）

TEL：025-225-6111